発行者：初倉公民館　毎月10日発行
〒：427-0111　島田市阪本1336-1
☎：0547-38-0002　R7－09号

初倉公民館だより

9月に入っても、「残暑」が厳しく、秋の訪れが待ち遠しいです。
「残暑見舞い」は、「暦の上では秋になっても残る暑さの中で、相手の体調を気遣う気持ちを伝える挨拶状」ですが、年々、残暑が厳しくなり、残暑見舞いを送る時期が難しく思えます。一般的に残暑見舞いの時期は立秋から始まりますが、終わりは、8月いっぱい、白露（9月8日）まで、9月中旬まで等、様々な考え方があるようです。
しかし、今年のような暑さが続くと、いつまでも残暑という言葉が残りそうです。まずは、9月に入っても熱中症には気を付けたいです。

●8月末の人口動向●

島田市	94,092人
	39,841世帯
初倉地区	12,798人
＊前年同月比	－22人
	5,495世帯
＊前年同月比	－1世帯

「ふじのくに歴史演談in初倉 ～坂本龍馬を斬った男　今井信郎の半生～」

8月24日（日）、「県民の日」歴史文化イベントとして、「ふじのくに歴史演談in初倉」（初倉郷土研究会の報徳講演会を兼ねる）を開催しました。第1部では、「坂本龍馬を斬った男　今井信郎の半生」をテーマに、小説「侍たちの茶摘み唄」の動読（演技を交えながら小説を朗読する表現方法）を舞台俳優の奥野あきひと氏が披露してくださいました。第2部では、地域の皆様と「初倉歴史トークセッション」を行いました。
初倉の歴史や今井信郎への関心度は高く、110人を超える人が集まり、会場は歴史ファンの熱気に溢れていました。皆様からは、「初めて聴く動読は、小説の内容がよく伝わってきた」「トークセッションは図書にはないことも知ることができた。話が尽きないほど盛り上がっていた」「初倉には歴史が多く残り、興味を持つことができた」「若い方も興味がある話だと思う」「歴史の中で今井さんがやったことがどう位置づけられるかを聞きたかった」等の感想をいただきました。

夏の里の楽校

8月6日に「夏の里の楽校」が行われました。「里の楽校」とは、地域の皆様の力をお借りして学び、かかわりの中で地域のよさを味わい、郷土愛（初倉愛）を高めたいと考える活動です。
1時間目は「昔の遊び」です。講師は、大柳見守り隊の皆様です。コマ回しやビー玉遊び、足相撲を一緒に楽しみました。
2時間目は「おにぎりづくり」です。講師は、やぶきたグループの皆様です。梅干しとふりかけのおにぎりを自分で作り、おいしくいただきました。
3時間目は「コースターづくり」です。講師は、杉村様です。紙を組み合わせて作ったコースターは、世界に一つだけの素敵な作品となりました。

生涯学級講座「落語講座」

8月23日、生涯学級講座として、お馴染みの月の輪熊八さんをお迎えし、「落語講座」が行われました。今年は「たらちね」と「親の顔」、「たいこ腹」を披露してくださいました。時事ネタも面白おかしくお話しくださり、会場は笑い声で溢れました。学級生が毎年楽しみにしている講座です。

里の楽校「地域探訪」（岡田方面）の紹介　（11月開催予定）

昔から親しまれている地域の場所を地域の皆様のお力をお借りして巡る『里の楽校「地域探訪」』を開催します。昨年は雨天中止となりましたが、今年で3回目の取組です。井口・大柳方面、旧初方面に続き、今年は岡田方面の探訪を計画しています。詳しくは、児童センターだより11月号や公民館内の掲示をご覧ください。